



登米市教育研究所
〒987-0511 登米市迫町佐沼字袋向 150-1
HPアドレス <http://www.tome-avc.jp/rese/>
TEL 0220-22-8029(相談専用 22-8125) FAX 22-9114



忙しい朝。でも、朝食はしっかりとらないといけませんね。たまごかけご飯なんて最高です。ところで、「卵」と「玉子」はどう違うのでしょうか。どのように使い分ければよいでしょうか。生物学上の表記としては「卵」、食材としての表記は「玉子」が一般的だそうです。「たまごを産んだ」「たまごが孵った」は「卵」、「たまご焼き」「たまごかけご飯」は「玉子」となります。「卵」と「玉子」に明確な線引きはないそうですが・・・

お詫びと訂正

教育研究所だよりNo.8で「道の常用」という部分がありましたが、正しくは「未知の状況」でした。たいへん申し訳ありませんでした。

カウンセリング研修会②



7月26日(金)第2回カウンセリング研修会が開催されました。

講師は総合教育センターの次長 河田 裕先生です。

今年度から年間2回の開催となり、2回とも受講された方には修了証が渡されました。

<講師の河田 裕先生>

「保護者対応の考え方とその技法」と題して講話と演習をしていただきました。概要は以下の通りです。

◎ 保護者対応は仕事の一つ(サービスとは考えない)

<保護者対応の背景と理解>

○ 社会的背景

- ・保護者の高学歴化 ・少子化 ・問題行動の学習化
- ・公務員に対する批判的見方の進展 ・保護者の消費者意識の強まり
- ・ストレス社会 ・学校問題の露呈 ・保護者の二極化

○ 保護者の問題

- ・原因は「よそ」・氷山の一角 ・不満蓄積 ・ストレス発散
- ・心の問題 ・過度の学校依存 ・親の問題行動化 ・被誘発
- ・報復 ・正当

(家庭の教育力の低下, 非常識な親・クレーマー)

○ 学校(園)の問題

- ・大人相手は慣れていない ・専門家意識が強すぎる ・隠匿姿勢
- ・閉鎖性 ・人の話を聞けない/聞かない教師
- ・変化について行けない学校文化 ・ミスを認めたがらない
- ・誤り下手 ・まともすぎる

○ 訴え(要望・苦情・クレーム)の見方

「○○小学校の子どもたちはだれ一人私に挨拶しない。どんな指導をしているんだ。」→「指導はしているんですが・・・」

◇この人(おばあさん)は毎日子どもの見守りをしている(心理的事実)

「あれだけプールの用意を忘れるなど言っておきながら、今日はどうしてプールに入らなかったのか。」→気温と水温が条件を満たさなかった

◇この母親は夜、車を走らせて子どものために水着を買いに行った(心理的事実)

- ・本当に伝えたいこと(本物の訴え)はストレートに表現されないことも
- ・保護者、地域住民の学校に対する思いや期待がこめられている場合がある

☆ 「客観的事実」と「心理的事実」

☆ 訴えの奥にある、本物の訴えを推し量る

<保護者対応の実際【初期対応】>

○ 保護者対応の心構え

- ☆ 要望を日常的に把握する
- ☆ 信頼関係の構築
- ☆ 速やかに対応する「誠意」=「スピード感」

<No.8の答え>

ビデオ÷家電 = → 「ビで終わる家電は」となり
答えは テレビ

頭の体操

おこめり

小鳥=2
男=3
?=4

TVのクイズ番組で出題されていた問題です。?に入る言葉は何?

- ・感情的にならない ・自分が攻撃されていると思わない
- ・誠実に対応 ・たらい回しをしない ・その場しのぎを言わない
- ・曖昧なことを言ったり、過度に期待をもたせたりしない
- ・一貫性を保つ ・チームで対応する

○ 教育相談で用いるカウンセリングの基本技能

☆ よく聴く(傾聴) ☆ 相手の立場に立つ(受容・共感)

☆ 客観的事実, 心理的事実

※ 受容→受け入れる(×) 受け止める(○)

☆ 非言語的技法

・姿勢 ・視線 ・表情 ・うなずき ・声のトーン, 強弱

・呼吸合わせ

☆ 言語的技法

・つながる言葉がけ ・傾聴 ・受容 ・支持 ・繰り返し

・感情の伝え返し ・明確化 ・質問 ・自己決定を促す

※ それぞれが組み合わされて基本技能となる

<保護者対応の実際(演習)>

演習「うちの子の成績に納得がいかない！」

DVDを視聴し、担任や学校の対応の

良かった点、悪かった点を話し合う



<おわりに>

○ 危機管理(リスクマネジメント)

ハインリッヒの法則

危機管理の「さしすせそ」

1件の重大な事故・災害
29件の軽微な事故・災害
300件のヒヤリ ハット

| | |
|---|--------|
| さ | 最悪を想定し |
| し | 慎重に |
| す | 素早く |
| せ | 誠意をもって |
| そ | 組織で対応 |

<参加者の感想>

○ まともな対応だけでは気づかない事があり、相手の気持ちに寄り添いながら、感情的にならず冷静に対応することの大切さを学んだ。

○ 保護者対応とは切り離せない職業なので、今回の研修ですぐに生かせることをたくさん学んだ。

○ 保護者対応はサービスではなく、あくまで仕事であるという事を聞き、少し気持ちが楽になった。

○ 保護者と信頼関係を築けるよう努めていきたい。

○ 演習はグループによる話し合いであったが、いろいろな意見や考えを聞くことができて参考になった。

○ 保護者対応の際には、初期対応が大切だと感じた。

○ 言葉の使い方、タイミング、表情、場所等によって伝わり方が違ってくるので、考えながら話したい。